

# 連続講座 2020

## 講義概要\*

\*予定です

### 第15回：2021.1.28 OSSの利用と法的リスク

現在、OSSは、多様な事業分野で活用され、AIやIoT等の先端の技術分野でも、極めて重要な役割を果たしています。

OSSを開発し、提供し及び利用する際には、脆弱性等に伴う責任、特許侵害リスク、伝播性（ソースコードの開示義務）、OSSの両立性等、様々な留意点があり、紛争事例も少なくありません。

本講義では、SOFTICの「IoT時代におけるOSSの利用と法的リスク検討会」の数年間に渡る検討結果を取りまとめたQ&A集を題材として、以下の点について、解説したいと考えております。

1. OSSの種類と特徴
2. 主要なOSSライセンスの留意点（MIT、BSD、Apache、GPL等）
3. GPLと伝播性
4. OSSライセンスの法的性格（単独行為か契約か）
5. 改正民法に基づく定型約款の規制との関係
6. OSSを開発し、提供し及び利用する際の留意点
7. OSSの両立性と混入
8. 脆弱性等に伴う責任問題
9. 特許その他の知財問題
10. OSSと越境問題
11. OSSの利用ポリシーと社内教育、サポート・管理体制
12. 紛争・トラブル事例
13. 今後の展望